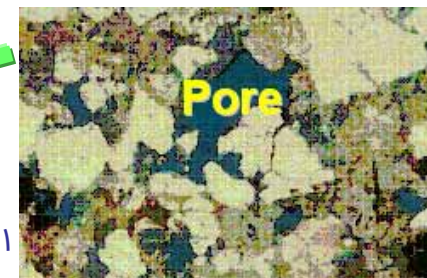
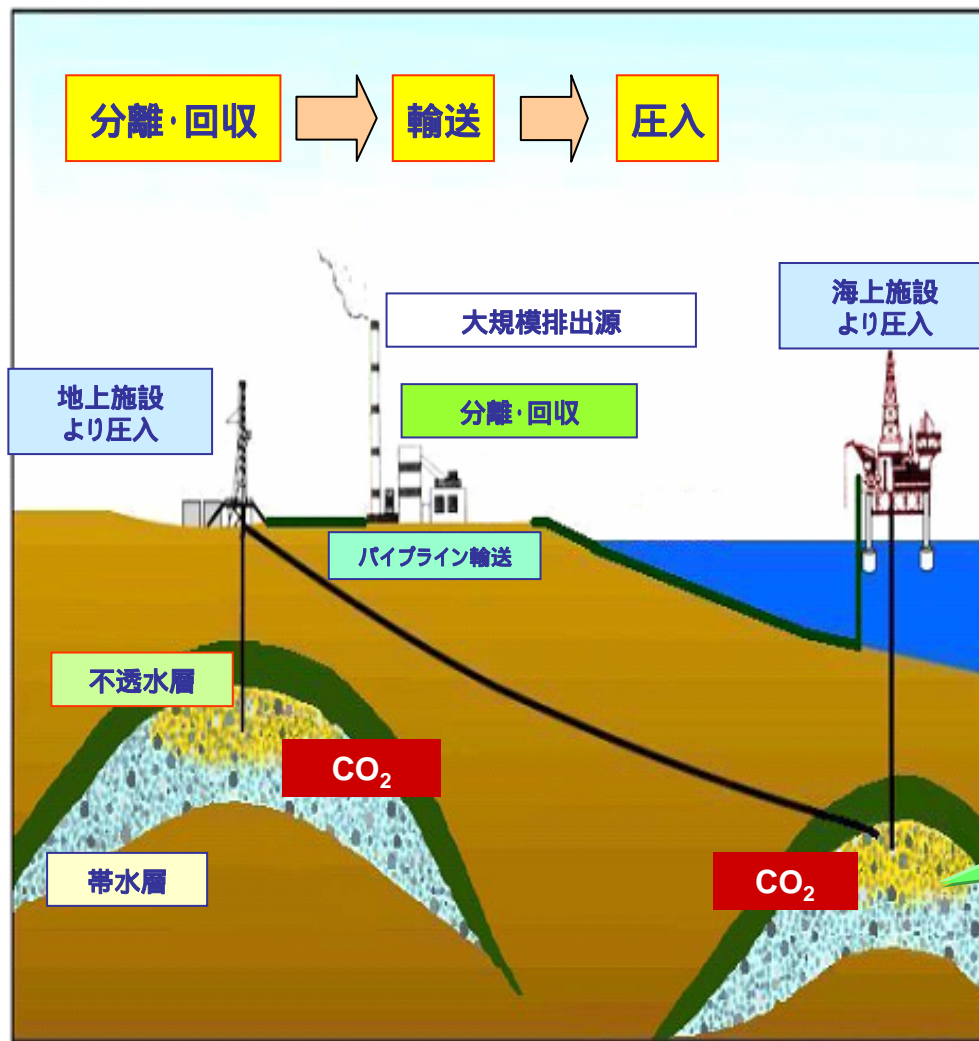


CO₂の帯水層地中貯留

我が国では2003年7月からCO₂の地中帯水層への圧入実証試験を開始(CO₂を1万トン圧入)

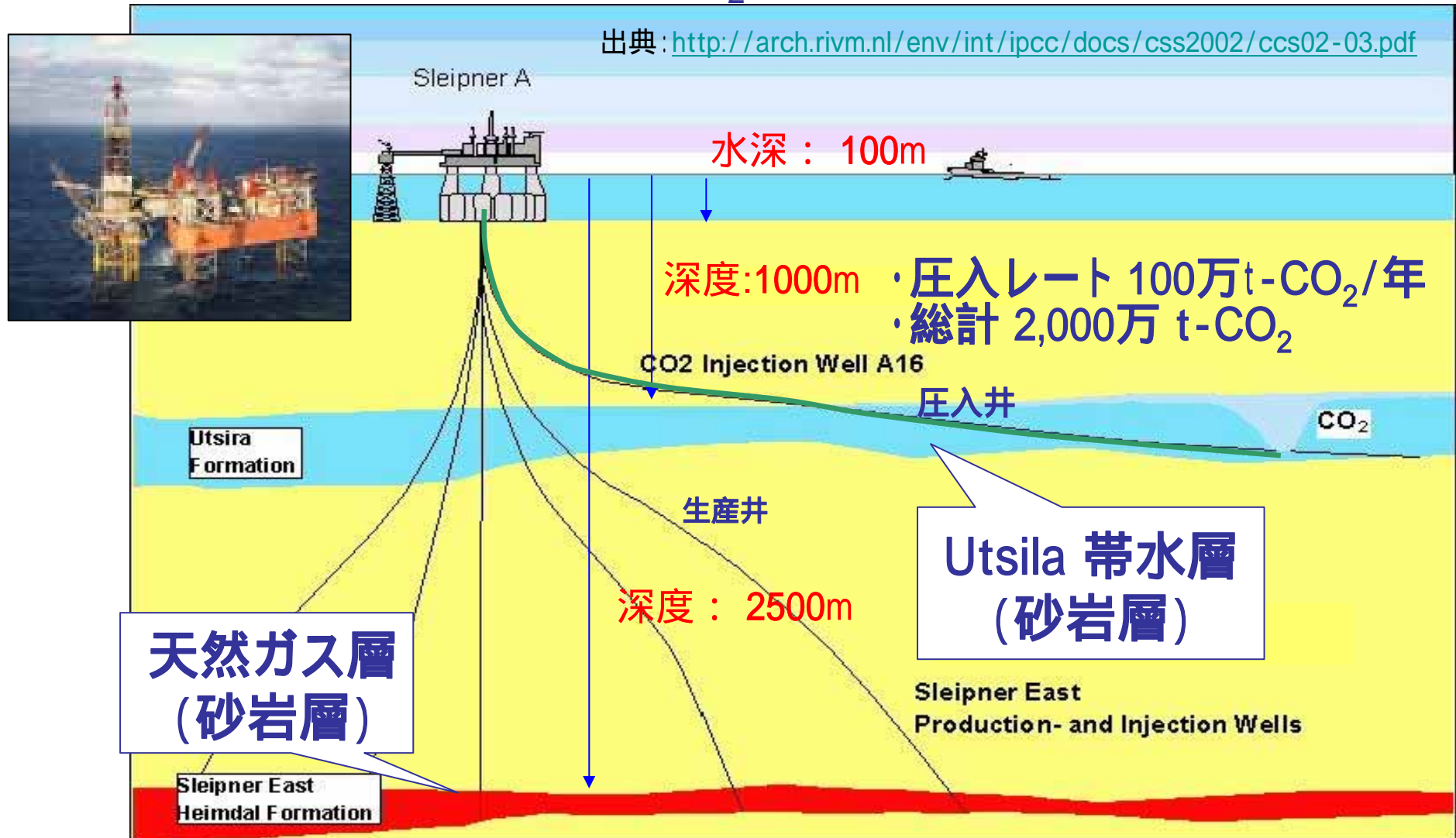


帯水層の顕微鏡写真
帯水層は、孔隙率の大きい
多孔質砂岩で形成された
塩水を含んだ層

CO₂ Aquifer Storage (ノルウェー)

生産天然ガス中の随伴CO₂を分離

出典: <http://arch.rivm.nl/env/int/ipcc/docs/css2002/ccs02-03.pdf>

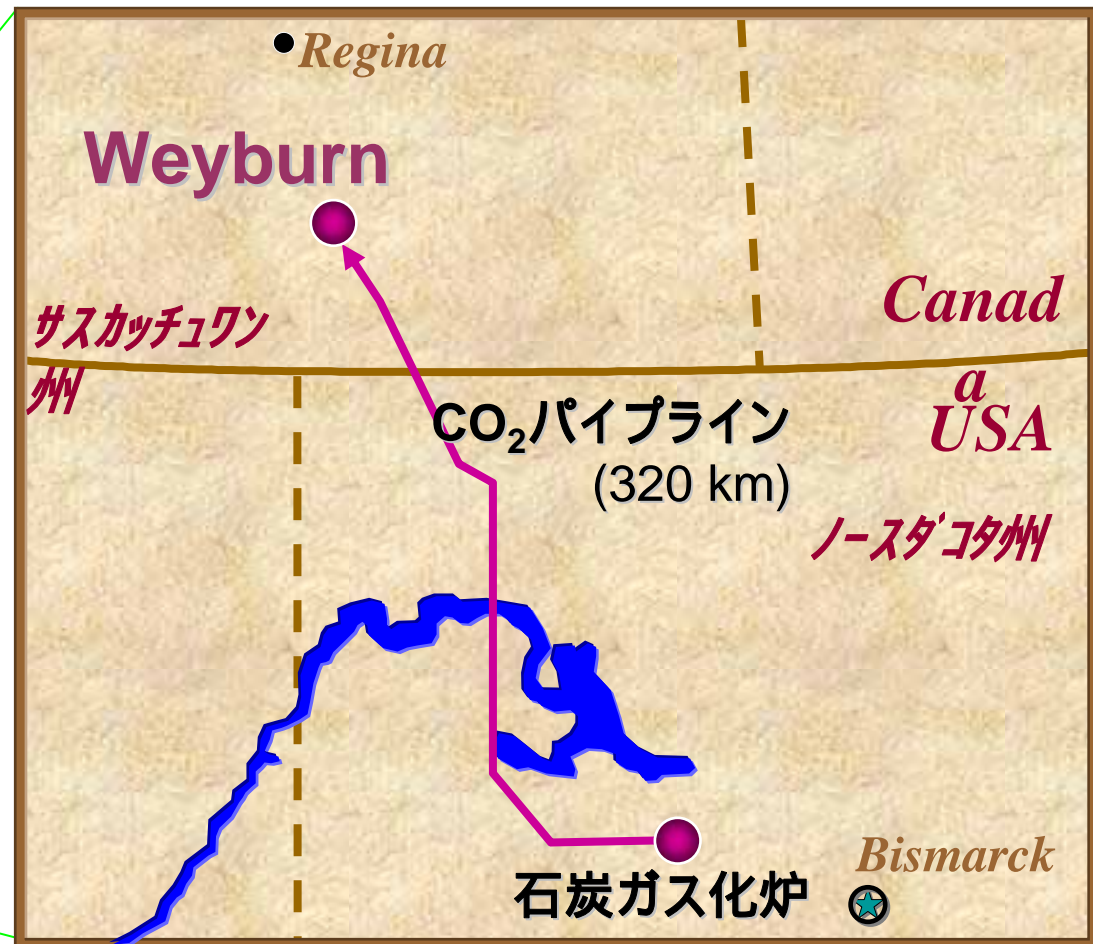
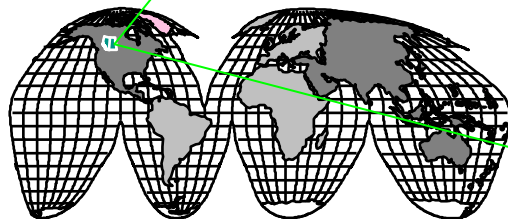


IEA Weyburn CO₂ Monitoring Project (カナダ)



- ・1954年に発見された油田。
- ・広さ: 約180 km²

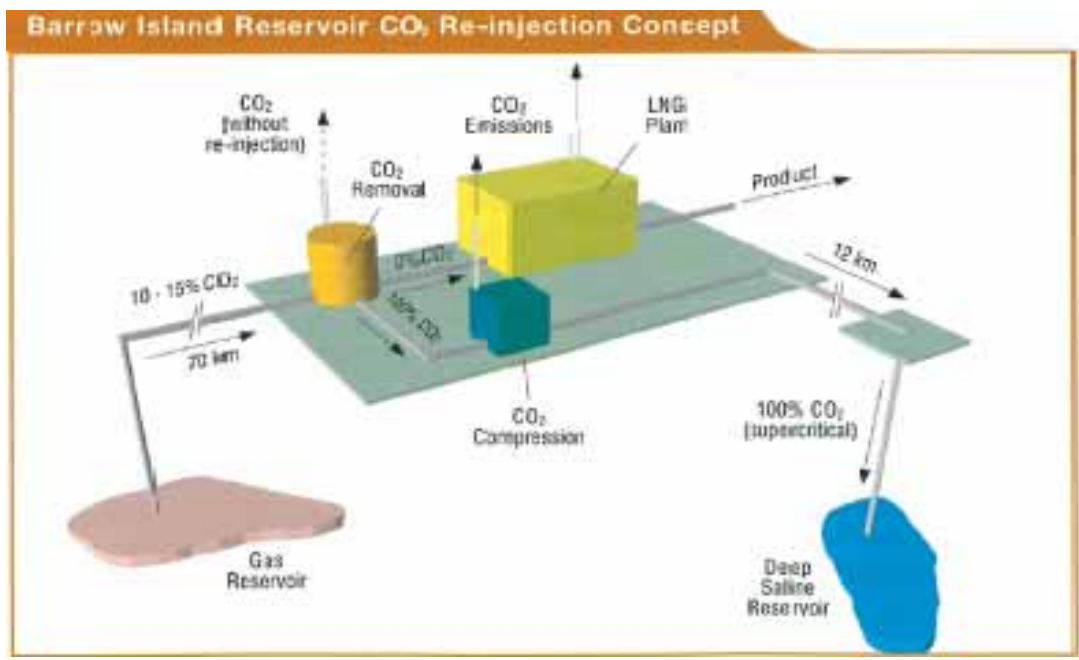
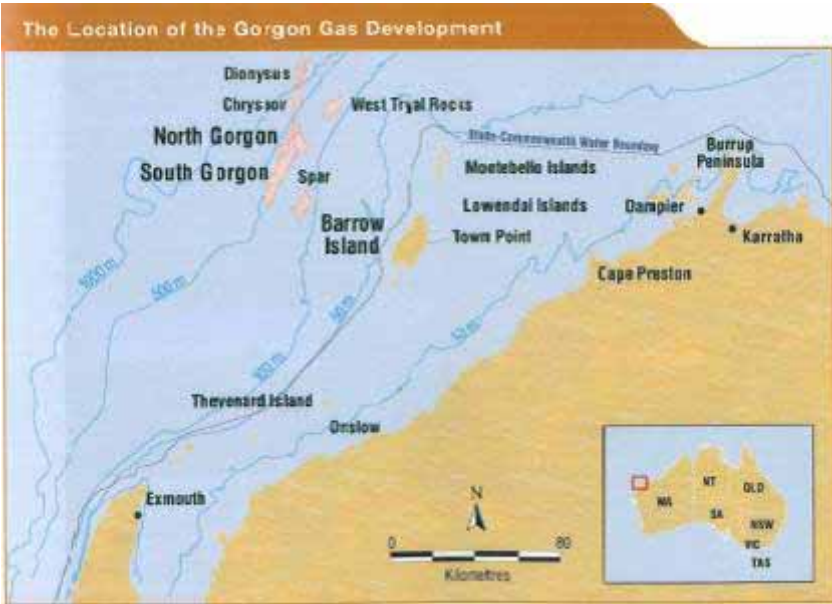
- ・EORのためにCO₂を供給。
- ・5,000 t-CO₂/日、20年間、総計2,000万 t-CO₂



出典: <http://www.gorgon.com.au.htm>

ゴルゴン開発計画の概要

- ・年間1000万t以上のLNG生産
- ・Chevron Texaco, SHELL, Exxon Mobil
- ・島の地下2700m ~ 3000mの帯水層に隔離
年間500万t-CO₂のCO₂隔離を目指す
 2005年半ばに着工、2008年本格稼働予定
- ・ゴルゴン財団の設立(1,000万AUD拠出予定)



CSLF (炭素隔離リーダーシップ・フォーラム)

CSLF(Carbon Sequestration Leadership Forum)は、炭素隔離・貯留による温室効果ガス削減を、商業的競争力の維持と環境保全を念頭に達成することを目指す。

- ・気候変動問題への対応には技術が鍵を握るとの考えに基づき、米国がリーダーシップをとって起こした国際協力のイニシアティブの1つ。(米国は、水素社会、第四世代原子力と並ぶ国際協力との位置づけ)
- ・米ブッシュ政権は、地球温暖化問題に対して、京都議定書のように温室効果ガスの総排出量に義務的な上限を設定するのではなく、技術革新や自主的取組の支援を中心としたイニシアティブを導入。



出典：<http://www.cslforum.org/>

(参加国)米、日、豪、カナダ、メキシコ、ブラジル、コロンビア、EU、英、伊、ノルウェー、露、中、インド、南ア、独、仏 【16カ国 + EU】